

3

みんなでつくる
豊かなまち

① 農業の振興

ピンネ農業公社の支援 679万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

基幹産業が農業である本町において、農業経営者の高齢化や担い手不足が進行し、農家戸数の減少や農地の遊休化が進み、地域農業が衰退する恐れが高まっています。

町とピンネ農協が共同で設立した「ピンネ農業公社」では、これらの課題解決に向けて、農業後継者の育成や農地の利用集積、農業生産法人設立の支援などを行いました。

農業基盤の整備 3170万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

農業基盤を充実させるため、北海道が主体で行うほ場や用排水施設の整備費を負担しました。

○新北部地区

町負担事業費 1712万円

○新南部地区

町負担事業費 830万円

○新西部地区

町負担事業費 628万円



青年就農給付金事業 300万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために、就農から経営が安定するまでの間（5年間）の所得を確保する「青年就農給付金」制度があります。

本町ではこの制度を活用し、親とは別の作物生産に取り組む青年2人に給付を行いました。

<財源内訳>

道の補助金 300万円

有害鳥獣の駆除 304万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

エゾシカやアライグマ、カラスなどの鳥獣による農業被害の増加を防止するため、獣友会に委託し、駆除などの適正な被害対策を行いました。

また、アライグマ捕獲用わなの購入助成など、町内における有害鳥獣駆除を推進する新十津川町有害鳥獣対策協議会に対し助成を行いました。

【平成25年度の駆除頭数】

- ・エゾシカ 84頭
- ・アライグマ 23頭

<財源内訳>

有害鳥獣駆除負担金 114万円

町の負担 190万円

農産物ブランド化の支援 59万円

(担当: 農産物ブランド化推進室)

町内で生産された農産物のブランド化を推進するため、新たな栽培方法を取り入れた良質で安全な農産物の生産や生産者自らが消費者との対面販売を行いました。

また、農産物やその加工品の販路拡大を目指した販売活動、広告活動を行っている農産物ブランド化推進協議会へ支援しました。



特産品

Special Product

新十津川町には、豊かな自然環境を生かした農産物と人々のエネルギーが結びついて生まれた、たくさんの特産品があります。明治30年に創業して以来の歩みを誇る「金浦」のお酒やお菓子類、陶器など多種多様です。新十津川物産館では、新十津川町だけでなく、毎村十津川村をはじめ直島の名産品が勢ぞろいし、販売されています。



高品質米「ゆめぴりか」「ななつぼし」



経営体育成支援事業

1467万円

(担当: 産業振興課農林畜産グループ)

経営体育成支援制度は、地域の中心となる農業者が、農業経営の発展や改善を目的に農業機械を取得した場合に、取得費から融資額を除いた残額の3割を上限に、北海道を経由し、国から助成を受けられる制度です。

本町では、6人の農業者が本制度を活用し機械を導入しました。

<財源内訳>

道の補助金 1467万円



「地酒金浦」

新十津川酒造が造った「地酒」を使いた、「地酒新十津川」。今朝飲むたお菓子等が人気です。
石井川の伏流水と、濁りタップの酒米でつくった地酒を味わってください。

新十津川酒造株式会社
☎ 0125-76-2041
<http://www.kinteki.co.jp/>



「シンギスカン」



新鮮な食材を使用し、新十津川の名産として長年親しまれています。
ホルモンもおすすめです。

有限会社丸醸場内店
☎ 0125-76-2529
<http://www.marukoubashi.com/>



「陶器」

北海道で採れた骨の骨の骨、焼いた陶器、陶器の土などこれら、この地に生息する木材を燃やし、自然の火で10日間焼成した「北焼窯」です。

新十津川骨董陶器店
☎ 0125-76-2529
<http://www.tonden-game.com/>

「笹餅」



地元で採れた「笹葉」を使用した笹餅店です。

有限会社新和屋
☎ 0125-76-2506

「ハム・ソーセージ」



新十津川の豚肉を守りながら、国内の畜肉をみんなに取り入れ、新しい味を生み出しているハム・ソーセージです。

有限会社よしだ
☎ 0125-76-4625
<http://www.wurst-yoshida.com/>

「フレーバーカントリー」

新十津川をコンセプトに、安心・安全な魚の生産と販売を進めて、多くの会員が、地元の貢献の場を提供。地元社会に貢献することを目的として活動しています。

新十津川フレーバーカントリー
新十津川フレーバーカントリー
☎ 0125-76-4661
<http://shop.matsuwahei.or.jp/>

② 林業の振興

町有林の保育管理

961万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

幌加地区の町有林において約12haの間伐を実施し、間伐後の植林準備を行いました。

また、幌加地区と総進の町有林において、植林した木の成長を阻害する雑草などを除去する下草刈りを行いました。

<財源内訳>

道の補助金 469万円
町の負担 492万円



林業専用道の整備

3179万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

適切な森林整備や原木の搬出推進による木材の安定供給を図るため、「森林整備加速化・林業再生事業」を活用して福井土寸地区に林業専用道を整備しました。

全長4703メートルのうち2230メートルの整備が完了しました。

<財源内訳>

道の補助金 3179万円



民有地への植林活動の支援 262万円

(担当：産業振興課農林畜産グループ)

新十津川町内の民有林において、伐採後に確実な再造林を行って森林資源の循環利用を進めるため、北海道と町が連携して伐採後の植林(14.42ha)を支援しました。

<財源内訳>

道の補助金 161万円
町の負担 101万円

③ 商工業の振興

地元消費の拡大を支援

400万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

地元での購買意欲の向上と消費拡大を図るために行ったスタンプラリー抽選会事業に助成しました。

【スタンプラリー抽選会】

○ふれあい商品券会加盟店で1店舗500円以上買い物で1スタンプ

- ・4店舗のスタンプ～1回抽選
- ・7店舗のスタンプ～2回抽選

○ラリー期間 1回目 7月20日～8月24日

2回目 12月15日～1月18日

○抽選会 1回目 8月25日 抽選者703人

2回目 1月19日 抽選者743人



中小企業事業資金保障融資 3047万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

中小企業者の経営基盤の強化と健全な資金運用を図るため、町が指定する金融機関に運用資金3000万円を預けて、融資のあっせんを行いました。また貸付けられた資金の利子補給を行いました。

平成25年度は11社に貸し付けられた資金の利子補給を行いました。

<財源内訳>

預託金元利収入 3002万円

町の負担 45万円

商店街の環境整備

203万円

(担当：産業振興課商工観光グループ)

消費者や観光客をひきつける成熟した商店街づくりを推進するため、各種団体の協力を得て、国道沿いの商店などにプランターを設置し、植樹枠には花を植栽しました。

また、商店街の景観形成としてLEDイルミネーション9基を作製しました。



④ 観光の振興

観光PRの推進

本町の観光施設の維持管理やイベント用テントなどの備品の整備のほか、ホームページや雑誌などを活用し、イベントや特産品のPRを積極的に行いました。

また、観光ガイドブック・観光PRポスターやPR名刺台紙を作成し、本町の観光情報を町内外へ広く発信しました。

※町内の団体に、5.4m×3.6mのテント（25張）を無料で貸し出していますが、間違った使い方で故障することが多くなっています。

部品が破損した場合は修繕費用を負担していただくことになりますので、大切にお使いください。

160万円

（担当：産業振興課商工観光グループ）



伝習館で工芸体験

507万円

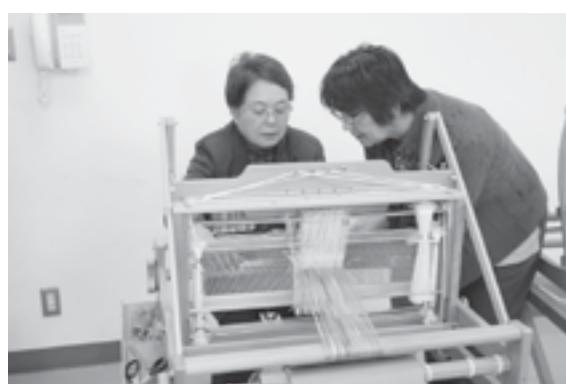
（担当：産業振興課商工観光グループ）

文化伝習館で週3回の体験講座（陶芸、染物、織物）を行いました。学校の体験学習の受け入れも行い、平成25年度は2881人の利用がありました。

<財源内訳>

利用料金 167万円

町の負担 340万円



キャンプ村の維持管理

326万円

（担当：産業振興課商工観光グループ）

青少年交流キャンプ村の管理に要した経費で、主にバンガローやトイレの清掃業務、施設の光熱水費や修繕費に使用しました。

平成25年度は、2998人が施設を利用しました。

<財源内訳>

利用料金 249万円

町の負担 77万円



イベントの共催

700万円

(担当: 産業振興課商工観光グループ)

本町の二大イベントである、ふるさとまつりと雪まつりを企画・運営しているふるさとまつり実行委員会に対し、開催費用の一部として、それぞれに350万円を助成しました。

【開催日・来場者数】

○ふるさとまつり

7月27日（土）前夜祭花火大会

（ビールパーティー 来場者数8000人）

28日（日）本祭 来場者数7000人

○雪まつり

1月26日（日）来場者数4500人



イベント

Shintotsukawa's Event

- しんとつかわ雪まつり（1月第4日曜日）
- 雨芸まつり（6月第3日曜とその翌日）
- ピンネシリ登山マラソン（7月上旬）
- 野外慈善ビールパーティー（7月第4土曜日）
- しんとつかわるるさとまつり（7月下旬）
- 新十津川神社例大祭（9月上旬）
- 踊覚まつり（10月第1日曜日）



1月 雪まつり

早い冬、ジャンボ雪だるまが子供たちの大入眠。また、「雪祭大会」や「雪中手鞠争奪相撲選手権」など各種ゲームが祭り盛り上げます。

6月 雨芸まつり

全国各地の雨芸作品を一堂に会して開かれる雨芸まつり。毎年多くの雨芸ファンが訪れ、盛り上がりを見せています。

7月 ふるさとまつり

夏の最大イベントで、「キャラクターショー」や「アーティスト選手権」などユニークな催しが行われ。和牛の丸焼きや野菜の総菜市なども人気です。

9月 新十津川神社例大祭

祝福を浴び、自然の恵みに感謝を捧げ、翌年の豊作を祈願する祭りとして開催されています。綱引のしまみこじ、道祖神や町旗を文化財の獅子神楽などが披露されます。

新十津川町では、季節の節目にさまざまなイベントを行っています。夏の「ふるさとまつり」、冬の「ゆきまつり」を筆頭に、「雨芸まつり」や「野外慈善ビールパーティー」など盛りだくさん。食べて、飲んで、遊んで、みんなの気分が満開です。



7月 ピンネシリ登山マラソン

山上を目標42kmほか、各目で折り返す30kmなど約300人が健脚を競います。

7月 野外慈善ビールパーティー

商工業者が主体となって行う屈指のビール消費量を誇るイベント。最後には「ふるさとまつり」の最終的な花火がフィナーレを飾ります。

10月 踊覚まつり

新十津川で収穫された高麗芋の収穫や芋煮会、新そばなどが楽しめます。



事業名	決算額	実施概要
農業の振興		
農業委員会活動事業	985万円	農業委員会の17人分の報酬などを支出しました
農業者年金事務	129万円	農業者年金事務を行いました
農地基本台帳管理システムの管理	36万円	管理システムの保守を行いました
農政事務経費	12万円	農業に係る事務に要する経費を支出しました
水稻の優良品種作付	14万円	水稻優良品種の作付試験を行いました
農地・水保全管理支払交付金	1610万円	農地・農業用水などを保全管理する組織に交付しました
環境保全型農業直接支援対策交付金	262万円	環境にやさしい農業に取り組む16人の農業者に交付しました
水土里情報システム負担金	41万円	農地情報などを管理するシステムの使用料を負担しました
営農振興対策協議会の支援	20万円	農業振興の関係機関で構成する協議会の活動を支援しました
農民協議会活動の支援	60万円	農業者で組織する農民協議会の活動を支援しました
農業経営基盤強化資金利子助成	603万円	認定農業者の借入資金の利子補給をしました
次世代農業者支援融資利子助成	3万円	農業後継者の経営承継資金の利子補給をしました
中山間地域等直接支払交付金	1億2748万円	中山間地域で営農する農業者に交付しました
経営所得安定対策への助成	611万円	地域農業再生協議会に推進事務費を助成しました
新規就農者技術修得センターの管理	517万円	修得センターのトラクター、軽トラックなどを更新しました
農地集積協力交付金	263万円	農地集積に協力した農業者に交付しました
家畜の病気予防	70万円	肉牛などに対しワクチンの予防接種を行いました
家畜相場の調査	2万円	家畜市場などで、家畜相場の調査を行いました
学園牧場の維持管理	127万円	町営牧場の維持管理を行いました
畜産振興協議会活動の支援	30万円	畜産農家で組織する畜産振興協議会の活動を支援しました
農業基盤整備事業償還金	385万円	完了した基盤整備事業の償還金を支出しました
21世紀高生産基盤整備事業事務費負担金	240万円	基盤整備事業に要する事務費を負担しました
国営造成施設管理体制整備の促進	1249万円	貯水池や農業用頭首工などの維持管理を行いました
基幹水利施設の管理	670万円	国の土地改良施設の管理を行いました
林業の振興		
森林総合研究所分収林の管理	37万円	分収造林地の管理を行いました
森林保護のための巡回活動	13万円	巡視により、林野火災やごみの不法投棄を予防しました
鳥獣による森林被害の防止	10万円	薬剤散布により、野ネズミによる森林被害を防止しました
林道の維持管理	301万円	林道5路線の維持管理を行いました
緑の少年団活動の支援	3万円	緑の少年団の活動事業に対して助成しました

事業名	決算額	実施概要
商工業の振興		
商工業振興事業	7万円	商工業振興委員会を1回開催しました
中小企業の近代化促進	34万円	商店街の近代化の取り組みに対し支援しました
借入資金の利子補給	232万円	国・道の融資制度利用者に資金利子の一部を助成しました
新十津川町商工会の支援	919万円	商工会の円滑な業務を推進するために助成しました
観光の振興		
ふるさと公園の維持管理	1367万円	ふるさと公園の草刈りなどの維持管理を行いました
文化伝習館の管理運営	609万円	文化伝習館の管理運営を行いました
新十津川物語記念館の管理運営	149万円	物語記念館の管理運営を行いました
吉野地区活性化センターの管理運営	560万円	吉野地区活性化センターの管理運営を行いました
吉野公園の維持管理	364万円	公園とキャンプ場の維持管理を行いました
吉野駐車公園の維持管理	55万円	駐車公園（旧吉野公園）の維持管理を行いました
イベント開催の支援	70万円	観光協会が主催するイベント費用の一部を負担しました
新十津川町観光協会の支援	10万円	観光協会が実施した事業に対して助成しました
ふるさと温泉の管理	974万円	温泉施設所有者に温泉の維持管理費を助成しました
交流促進施設の管理運営	4173万円	サライなど4施設の運営を指定管理により行いました
新十津川総合振興公社の支援	2000万円	振興公社の安定運営のため運転資金の貸し付けを行いました
雇用の創出		
地域職業訓練センター協会負担金	57万円	職業訓練センターの運営費を負担しました
新十津川技能協会の支援	4万円	技能協会の運営を推進するために助成しました
通年雇用の促進	2万円	滝川地域通年者用促進協議会の運営費を負担しました